

2005年（平成17年）

- ・SPCとの交流会を実施
- ・東京公演のツアーを実施
- ・第7回札幌くらぶコンサート開催
- ・初代会長山科俊郎氏ご逝去
- ・オーケストラファンクラブ「山形宣言」を発表
- ・札幌が初の韓国公演

SPCと交流会

2月25日、SPCの工藤会長以下8名の方が2度目となる札幌訪問をされました。翌日の札幌の定期演奏会を聴くのが主な目的ですが、札幌くらぶ関係者28名が出席して、歓迎の交流会をホテル・ルーシス札幌で行いました。

お互いが旧知の間のような関係になっており、至極和やかな雰囲気、この夏には札幌くらぶは山形訪問を予定しているので、山形で再会しましょうと約束し合いました。

東京公演ツアー実施

懸案だった札幌東京公演ツアーが3月5・6日の2泊3日で実施されました。すみだトリフォニーホールで毎年開催されている、地方都市オーケストラフェスティバルに出演する札幌を聴きにいこうというものです。スタッフ・会員の10名程のツアーとなりました。

演奏会は6日でしたが、5日には首都圏の会員との懇親会が予定されていました。それに先だって、群響を応援する県民の会の小野会長と横田事務局次長がホテルまでお出で下さり、スタッフと貴重な意見交換をする機会を得ました。夕刻に行われた懇親会にも出席して下さり、20名程集まって下さった首都圏在住会員とともに楽しいひとときを過ごしました。

6日の演奏会は、札幌の演奏として定評の

あるオール・シベリウスのプログラムでしたが、当日券売り場に長い列ができ、満席の中で演奏が行われました。東京にも札幌ファンが多いのだ、ということ再認識させられた演奏会でした。

第7回札幌くらぶコンサート開催

7回目を迎えた札幌くらぶコンサートが、5月7日に尾高さんの指揮でキタラ大ホールで開催されました。

めったに聴く機会のないチューバとコントラバスの協奏曲という珍しいプログラムで始まり、恒例となっている「指揮者にチャレンジ」のコーナーを挟み、後半はチャイコフスキーの「白鳥の湖」が演奏されました。例年行っている高校生の招待に加え、石狩管内の中学生や視覚障害の方々の招待も行われました。

コンサート終了後、レストラン・キタラで交流会が行われました。会員、楽員が100名近く参加され、いつもにまして賑やかな交流会となりました。新しい企画として、サイン用の色紙を100円以上で買ってもらい、尾高さんや楽員の皆さんにサインをしてもらうというもので、用意した色紙はあっという間に売り切れしました。中には1枚を1000円で買ってくれる人もいて、1万8千円を売り上げました。売上金はその場で、秋に予定されている札幌の韓国公演への支援金として寄付されました。

初代会長逝去

札幌くらぶ初代会長の山科俊郎北海道大学名誉教授が、7月30日、胃癌のためお亡くなりになりました。

札幌くらぶ会長を6年間務められ、札幌くらぶの基礎を築かれました。また、専門の工学の分野での様々な功績の他、道民に馴染みの深いものとして、スパイクタイヤ規制を実現されたことでも知られていました。



初代会長山科俊郎氏

オーケストラファンクラブ「山形宣言」

8月27日に、予定されていた札幌くらぶ、SPC、山響ファンクラブの合同交流会が開催されました。

この日行われた、山響の定期演奏会に尾高さんが客演するのに合わせての開催でした。演奏会を鑑賞した後で、夜遅くの実施になりましたが、ホテルは全面的に協力してくれ、尾高さんもお疲れにもかかわらず出席して下さいました。

各クラブ代表者の挨拶後、和やかに交流会が始まり、尾高さんの軽妙なスピーチや参加者の紹介が行われました。いつもの交流会なら、この後は和やかに歓談後にお開きとなるところですが、今回は「山形宣言」の採択という重要イベントがありました。

「2005 オーケストラ・ファンクラブ山形宣言」と名付けられた宣言は、札幌くらぶの西川事務局長の提案によるもので、全国のファンクラブが協力して、音楽文化の発展と「おらが町のオーケストラ」を守り育てることに

寄与するため、オーケストラファンクラブの全国組織を作ろう、というものです。事前に各クラブの会長、事務局長の賛同を得たものでした。

山響ファンクラブ伊藤事務局長によって宣言が読み上げられ、出席者全員の盛大な拍手によって採択されました。尾高さんも大きな拍手で賛意を表され、立会人になっていただいた結果となりました。

宣言の具体化に向け、翌年札幌での交流会を実現するなど、札幌くらぶが中心になって今後の活動を進めることになりました。

3 ファンクラブ合同の交流会という、夢のような企画が実現しただけではなく、もっと大きく全国規模でという更に大きな夢への第一歩となり、山形での交流会は各ファンクラブにとって画期的で有意義な交流会となりました。

札幌が初の韓国公演

札幌としては4年ぶりの海外公演となる、初の韓国公演が9月末から10月初旬に行われました。

「日韓友情年2005」の記念事業の一環として「ソウル国際音楽祭」に招聘され、合わせて札幌と交流の深いテジョンでの公演が行われたものです。

公演は予想以上の大成功でした。韓国では地方のオーケストラはレベルが低いという先入観があり、札幌の高い音楽レベルは大きな驚きを持って受け入れられたようです。

◎この年「札幌くらぶ」に登場した人
尾高忠明（札幌音楽監督）
西村善信（札幌専務理事）
宮澤敏夫（札幌事務局長）
大平まゆみ（札幌コンサートマスター）
清水国雄(F1)、鹿島祥湖(Va)
石原ゆかり(Vn)、藤原靖久(Perc)
福田善亮(Tp)、石川祐支(Vc)
村上 敦(Fg)、多賀万純(Vn)